



## 2 主な施策の取組状況 関連施策



## (7)消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

### ①-1 農産物等の安全性の確保

#### ○ GAP指導者養成研修の開催

- 農産物生産段階における環境保全や食品安全、労働安全等を確保するため、GAP(農業生産工程管理)の取組を推進しています。
- 令和4(2022)年度は、生産現場でGAPの取組を推進する各農業振興事務所の普及指導員やJAの営農指導員等26名を対象に、GAP指導者養成研修を実施しました。
- 今後も安全な農産物を消費者に提供できるよう、指導者の育成等を通して、県全域でGAPの取組を推進していきます。



1日目(基礎コース)



2日目(実践コース)

(経営技術課)

#### ○ 農作物等の盗難防止に向けた協定締結

- 令和4(2022)年6~8月に果実の大量盗難が相次いだことから、関係者が一丸となり、農作物等の防犯対策を強化するため、同年9月1日にJA栃木中央会、県警本部、県農政部による連携協定を締結しました。
- 協定締結を契機に、JAや警察署、市町、防犯ボランティア等の地域関係者による合同パトロールが佐野市や真岡市、栃木市等の各地で実施されました。
- 今後は、農業者等に対する防犯意識の向上と地域ぐるみによる防犯活動の強化を支援していきます。



農作物等盗難防止に関する協定締結式



警察署や防犯ボランティア等による合同パトロール

(経営技術課)

## (7)消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

### ①-2 農産物等の安全性の確保

#### ○ とちぎGAPの第三者確認登録及び生産組織のGAP実践支援(上都賀地域)

- GAPの実践を支援するため、JA生産部会及び個別経営体に対して、とちぎGAPの第3者確認と農場点検を推進しました。
- 関係機関と連携し推進した結果、JAかみつが梨部会とちぎGAP取得研究会及び個別経営体5戸がとちぎGAPの第三者確認を実施しました。また、農場点検は、JAかみつが日光大豆部会で実施しました。
- 生産組織等に加えて、直売所に対しても持続的な改善活動である農業生産工程管理(GAP)の取組を推進します。



JAかみつが日光大豆部会への現地指導



とちぎGAPの第三者確認  
(上都賀農業振興事務所)

#### ○ JA生産部会におけるGAP農場点検の実施(下都賀地域)

- 産地での安全性の確保や安全・安心なブランド構築を図るため、産地(組織)を単位としたGAP農場点検の取組を推進しています。
- JAしもつけニラ部会及びJAおやま梨部会において、農場点検を実施し、各生産部会のGAPチェックシートに記載の項目に沿って、農薬、肥料、農産物取扱、農作業安全等の点検を行った後、その状況や改善点について講習会等により部会員に共有しました。
- 今後もますますGAPの取組への必要性が高まることから、農業者自ら課題の発見と改善が図れるよう、農場点検実施組織数の拡大に取り組みます。



農場点検(総合討議)



適正に管理された農薬保管庫  
(下都賀農業振興事務所)

## (7)消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

### ①-3 農産物等の安全性の確保

#### ○ いちご栽培でとちぎグリーン農業を推進 (安足地域)

- 環境負荷の低減と収益性の向上を両立する「とちぎグリーン農業」を実現するため、いちご栽培における新技術の実証に取り組みました。
- この技術は、紫外線(UV-B)をいちごに照射することで抵抗性を誘導し、うどんこ病を防除することができることから、減農薬栽培と省力化が期待できます。
- 今後、実装に向けた栽培マニュアルを作成し、いちご栽培におけるグリーン農業の普及拡大を図ります。



生分解性マルチ



UV-B照射の様子  
(安足農業振興事務所)



# (7)消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

## ②-1 食と農の理解促進と県産農産物の利用拡大

### ○ 農政部公式Twitterの新企画となる「フォーカスNowとちぎ」の開始

- 本県の農業・農村の魅力を発信するため、農政部公式Twitterにおいて、ぱっと見で投稿を印象づける新企画「フォーカス Now とちぎ」を令和4(2022)年6月に開始しました。
- 共通のハッシュタグ「Nowとち」を設定し、県産農産物を使用した料理や観光資源だけでなく、作物の生育や農業の豆知識などを計133件発信しました。
- フォロワーは、約1,500人増加するなど一定の効果が得られたため、今後も継続した発信を行い、農業・農村ファンの拡大、農に関わる交流人口の増加と農村地域への移住や定着へとつなげていきます。



「Nowとち」投稿の例



農政部ツイッター  
(QRコード)

(農政課)

### ○ いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会での食育の推進

- 食育キャプテンを活用したブース出展による食とスポーツを関連付けた食育活動を展開しました。
- また、県産農産物のPR動画の放映や、100日前イベントでの料理デモンストレーションの実施により、県民の食への関心を高め、健康で心豊かな食生活の実践を促しました。
- 引き続き、スポーツや食育キャプテンを活用し、子供達に親しみやすい食育活動を展開していきます。



食育キャプテンを活用したブース出展



県産農産物PR動画

(農政課)

# (7)消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

## ②-2 食と農の理解促進と県産農産物の利用拡大

### ○ いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会で「いちご王国」をPR

- 「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」で「いちご王国・栃木」を県内外に広く周知するため、会場内ではいちごのシールラリーを行い、参加者にピンバッジの配布を行いました。
- PRブースではいちご加工品等の販売を行うとともに、ステージイベントでは県産いちごをPRしました。
- 本大会をきっかけに、県内外の方に「いちご王国・栃木」として認知いただけたことから、今後も県内外において「いちご王国」プロモーションを展開します。



ステージイベントの様子



PRブースの様子

(経済流通課)

### ○ 県オリジナル品種「とちぎの星」の高品質化による販売力の強化

- 「とちぎの星」は多収で高温にも強く、大粒で食味が良いといった優れた特性を持ち、実需者からのニーズも高いことから、作付が拡大しています。
- 更なる品質向上を図るため、モデル地区を設定し、栽培マニュアルに基づく技術指導の徹底を図り、粒の大きさをより際立たせた商品づくりを進めています。
- 今後は、「とちぎの星」全体の品質向上による評価の底上げとともに、更なる消費拡大に向けて認知度向上を図っていきます。



粒の大きさを際立たせた「とちぎの星」の販売キャンペーンの実施

(生産振興課)

## (7)消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

### ②-3 食と農の理解促進と県産農産物の利用拡大

#### ○ 宇都宮市食育フェアにおいてにっこりをPR (河内地域)

- 宇都宮市食育フェアが3年ぶりに対面方式で開催され、サテライト会場となった宇都宮市上籠谷町の(株)山口果樹園において、収穫体験やクイズ等による「にっこり梨のPR」を行いました。
- 参加した宇都宮市内の親子12組41名は、梨の品種による開花時期と収穫時期の違いなどを学ぶとともに、自分の顔より大きなにっこり梨を前に目を輝かせながら、にっこり梨の魅力や生産者の思いについて理解を深めました。



山口果樹園からの説明



にっこり梨クイズ大会

(河内農業振興事務所)

#### ○ いちご情報館の見学再開(芳賀地域)

- 道の駅にのみやに併設している「いちご情報館」において、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止していた社会科見学の受入を2年振りに再開しました。
- 令和4(2022)年度は、真岡市内の3校の小学校3年生が訪れ、芳賀農業振興事務所の職員が、情報館や温室で説明を行いました。また、新たに参加型企画としていちごクイズを行い、楽しみながら学べる内容としました。
- 引き続き、「いちご王国とちぎ」の情報発信の拠点として、施設の利用拡大、PRを行っていきます。



展示パネルによる説明



いちご温室での説明

(芳賀農業振興事務所)

# (7)消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

## ②-4 食と農の理解促進と県産農産物の利用拡大

### ○ いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会で管内の農をPR（下都賀地域）

- 令和4(2022)年10月に開催された「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の期間中、栃木県総合運動公園内の「いちご一会広場」において、農産加工品の販売や下都賀管内の市町に関するクイズ等を行いました。
- 13日間の開催期間中、PRブースにおいて県内外約2,100人の方々に管内5市町に関するクイズに参加いただくことで、下都賀地域の魅力ある農業・農村について理解してもらうことができました。
- 今後とも機会を捉え、各種イベントや情報発信ツールにより、下都賀地域の食と農を発信していきます。



下都賀クイズ参加者



PRブース  
(下都賀農業振興事務所)

### ○ とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道スタンプラリーの開催(下都賀地域)

- 会員施設への誘客促進とPRを目的として、令和4(2022)年12月15日から令和5(2023)年2月26日までスタンプラリーを開催しました。
- 各会員施設に、施設で体験できる内容に合ったスタンプを設置し、スタンプを集めた方々に、抽選でとちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道会員商品を贈呈しました。県内外から多くの参加があり大変好評でした。
- 引き続き、当街道地域への誘客につながるよう、地域の魅力発信に取り組んでいきます。



会員施設の様子



スタンプラリー資材

(下都賀農業振興事務所)



# (7)消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

## ③-1 食料の安定供給

### ○ 頭首工の緊急一斉点検の実施

- 愛知県で発生した漏水事故を踏まえ、国、市町、施設管理者と連携し、県内541箇所ある農業用水を取水する頭首工の緊急一斉点検を実施しました。
- 点検については、農業用水の安定取水を図る観点から、「堰上流からの漏水」、及び「堰下流からの湧水」等を目視確認し、全ての施設で異常は確認されませんでした。
- 今後とも、頭首工をはじめとする農業水利施設の適切な保全管理に向け、施設管理者による日常管理の徹底や定期的な機能診断、対策工事等の取組を促進していきます。



緊急点検を実施した頭首工



緊急点検の実施状況

(農地整備課)

### ○ 農産物等盗難防止のための「いちごほ場マップ」の作成(上都賀地域)

- 上都賀農業振興事務所では、全国的な農作物盗難被害の増加を受け、地域ぐるみの盗難対策強化に役立てるため、「いちごほ場マップ」を作成しました。
- マップには収穫時期や生産者ほ場の分布、ハウス外観などが記載されており、どの時期に、どの地域の、どのようなハウスを見回ればよいか分かるようになっています。警察署と共有することで、見回り強化に繋げることが出来ました。
- 上都賀農業振興事務所では、今後も関係機関との連携強化や、生産者や地域住民への呼びかけを行い、盗難防止対策に努めていきます。

取扱注意  
(防犯カメラが設置されています)

### 鹿沼市いちごほ場マップ

(盗難防止対策期間11～5月)  
令和4(2022)年12月 鹿沼市農業振興事務所

【いちごほ場の種類別分布】

月	11	12	1	2	3	4	5
ほ場数	1	2	3	4	5	6	7
生産者数	1	2	3	4	5	6	7
ハウス数	1	2	3	4	5	6	7

【お土産で買ってきた品種】

品種	とちおとめ	とちあいか	スカイベリー	なつおとめ	ミルキーベリー	とちひめ
特徴	平丸で肉厚、糖酸比が高く、味は上品で、収穫後、常温で3週間程度貯蔵可能。	肉厚で糖酸比が高く、味は上品で、収穫後、常温で3週間程度貯蔵可能。	肉厚で糖酸比が高く、味は上品で、収穫後、常温で3週間程度貯蔵可能。	肉厚で糖酸比が高く、味は上品で、収穫後、常温で3週間程度貯蔵可能。	肉厚で糖酸比が高く、味は上品で、収穫後、常温で3週間程度貯蔵可能。	肉厚で糖酸比が高く、味は上品で、収穫後、常温で3週間程度貯蔵可能。

いちごほ場マップ

(上都賀農業振興事務所)

## (7)消費拡大・安全対策の強化

農産物等の安全性の確保や地産地消の推進、食糧の安定供給など消費拡大・安全対策の強化を図っています。

### ③-2 食料の安定供給

#### ○ 肥料等生産資材高騰対策会議を設置し代替資材等について検討(上都賀地域)

- 肥料等生産資材の高騰が農業経営に大きく影響を与えている状況を踏まえ、関係機関・団体が連携し、影響緩和策について検討し対応を図ることを目的に、令和4(2022)年6月7日に対策会議を設置しました。
- 対策会議では、各種支援事業の周知及び活用推進を図るとともに、中長期的な視点からの対策について検討を進めました。
- 検討された影響緩和対策である「代替肥料としての堆肥活用」及び「自給飼料の生産拡大による飼料費削減」について、今後も推進していきます。



飼料用作物の生産検討

(上都賀農業振興事務所)

